

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2016. 3. 1

下水道機構の『新技術情報』 第225号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

今朝は通勤電車の中では、くしゃみをする人が多く見受けられました。いよいよ花粉シーズンも本番ですね(T_T)今年度もあと1か月！花粉にもマケズ、インフルエンザにもマケズ、風邪にもマケズ、H27年度を締めくくっていきましょう!(^^)！
それでは機構メールマガジン『新技術情報』第225号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・3/10(木)の技術サロンは、国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課企画専門官 本田 康秀氏をお迎えして開催します
- ・共同研究者を募集しています

■機構の動き

- ・今週は、行事はありません

■Tea Break

- ・休日の幸せ（研究第一部 温泉でほっこりさんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

- ・今日のゆいまーるは、お休みします m()m

■国からの情報

- ・2/29 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション （最新の話です）

。○。○。

●3/10(木)の技術サロンは、国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課企画専門官 本田 康秀氏をお迎えして開催します

地方公共団体等では、団塊世代の大量退職や組織のスリム化等により執行体制が

脆弱化して、今後の下水道事業運営についてはますます厳しい状況となると思われます。そこで、本田専門官に『下水道の事業執行支援の方策について』と題して、執行体制の強化に向けた支援の方策について広報、人材育成も含め幅広くお話しいただきます。

お申し込みはこちら→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

●共同研究者を募集しています

下水道機構では、共同研究者を募集しています。

募集テーマは、「汚泥処理関連省エネ補機・技術」、「OD法の省エネ技術」の2件です。

※汚泥処理関連省エネ補機・技術に関する詳細はこちら⇒

<http://www.jiwet.or.jp/wp/wp-content/uploads/2016/02/c9570edbf17fc80ba328d572d367219a.pdf>

※OD法の省エネ技術に関する詳細はこちら⇒

<http://www.jiwet.or.jp/wp/wp-content/uploads/2016/02/ef447592cd8b8b0f3c359611eedc1c0c.pdf>

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

○日 時：平成28年3月7日(月) 10:30~15:30

行 事：平成27年度 第3回技術委員会

場 所：下水道機構8階 特別会議室

案 件：各委員会の調査研究報告についての審議等

○日 時：平成28年3月8日(火) 13:00~15:00

行 事：平成27年度 第3回流出解析モデル利活用に関する共同研究委員会

場 所：下水道機構8階 中会議室

案 件：流出解析モデル利活用に関する共同研究について

○日 時：平成28年3月9日(水) 13:15~16:00(予定)

行 事：平成27年度建設技術審査証明事業（下水道技術）証明書交付式

場 所：下水道機構8階 中会議室

案 件：①新規技術(9技術)、②変更技術(18技術)、③更新技術(21技術)

○平成28年3月10日(木) 17:00~18:00

行 事：第346回技術サロン

場 所：機構8階 中会議室

ゲスト：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2016.2.29 付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局下水道部下水道事業課企画専門官 本田康秀

=====

★★★★★ ラインナップ ☆☆☆☆☆

●マンホールサミット 2016 3月19日に開催決定！（参加無料）

【GKP（下水道広報プラットフォーム：事務局（公社）日本下水道協会）】

●宮城県の唯一の村、大衡村ふるさと美術館で「何でえーマンホール」展を開催します。【大衡村ふるさと美術館】

●災害用マンホールトイレを初運用【北九州市】

●京都府の呑龍トンネル（下水道の雨水幹線）のトンネル掘削工事に関する報道の紹介【京都府】

○国土交通省災害・防災情報 (<http://www.mlit.go.jp/saigai/index.html>)

=====

●マンホールサミット 2016 3月19日に開催決定！（参加無料）

【GKP（下水道広報プラットフォーム：事務局（公社）日本下水道協会）】

下水道広報プラットフォーム（GKP）主催の「マンホールサミット 2016 ～マンホールカードまじまるよ～」の開催日が3月19日（土）に決定しました。今年のマンホールサミットはさらに進化します。

会場前の路上で、マンホール蓋の奥に閉ざされた”未知の世界”を公開。蓋が開いた状態や、下水が流れる様子などを参加者ご自身の目で目撃していただきます。また、リレートークでは、現役の東京都職員から、「マンホールの先に広がる驚きの世界」が語られます。事前申込み制で、定員は300名です。

なお、併せて応募致します見学会（マンホールの中を覗いてみよう！）は定員100名です。先着順ですので、お早めにお申し込みください。

<開催概要>参加無料

日時：平成28年3月19日（土）

11時30分～16時30分

会場：メタウォーター株式会社14階

東京都千代田区神田須田町1-25

主催：下水道広報プラットフォーム

協力：東京都下水道局

詳細、申込み等は下記からお願いします。

→ <http://www.gk-p.jp/pdf/m-summit2016.pdf>

●宮城県の唯一の村、大衡村ふるさと美術館で「何でえーマンホール」展を開催します。【大衡村ふるさと美術館】

大衡村ふるさと美術館で「何でえーマンホール」展を3月18日（木）～4月10日（日）の会期にて開催します。「美術館」でマンホール展、『何でえー』と思われるかもしれません。

当美術館庄子明宏館長が、「ある日、とある自治体を歩いていると楽しいデザインのマンホールがあることに気がつきました。」ということが原点です。日本のサブカルチャーとして、空前のマンホールブームであったとは露知らず、5年ほどの月日を掛けて宮城県内の旧自治体71市町村の汚水マンホール蓋を中心にカメラで集めました。

また、東北六県、13の自治体のご協力を頂き、ユーモアあふれる実物マンホール展示等も予定しております。

『あしもとに美術がある』という視点から、宮城県内のマンホールを鑑賞してみませんか。是非ご覧ください。

<開催概要>

所在地：宮城県黒川郡大衡村大衡字平林 39-12（昭和万葉の森敷地内）

利用時間：10：00～16：00

入館料：一般 200円、高校・大学生 150円、小・中学生 100円

問合せ：022-345-0945

※会期中（3月18日（木）～4月10日（日））は無休

●災害用マンホールトイレを初運用【北九州市】

北九州市では、平成27年度から市内25箇所の広域避難地を対象にマンホールトイレの整備を始めており、このたび小倉北区勝山公園内での整備（5基）が完成しました。マンホールトイレについて広く市民にPRし、災害時での円滑な使用に備えるため、2月21日に開催された「北九州マラソン2016」において、市内で初めて運用しました。当日はスタート前のランナーに利用してもらい、アンケートも実施しました。

回答のあった110人の9割が「大変良い、良い」と評価しました。北九州市は今後、市民の意見を聞きながら市内7区に各1箇所程度の整備を順次進めていく計画で、安全・安心感の醸成と万一の災害に備えた地域防災力の強化に繋げていく考えです。

●京都府の呑龍トンネル（下水道の雨水幹線）のトンネル掘削工事に関する報道の紹介【京都府】

◆京都）地下トンネル浸水防げ 延長工事開始（2/26 朝日新聞）

<http://www.asahi.com/articles/ASJ2T5FF4J2TPLZB01B.html>

◆貯水施設のトンネル工事現場公開 京都、25日から掘削機稼働（2/23 京都新聞）
<http://kyoto-np.jp/local/article/20160223000064>

◆シールドマシン公開 水害防げ、科学のモグラ 桂川右岸域、いろは呑龍トンネル南幹線 / 京都（2/23 毎日新聞）

<http://mainichi.jp/articles/20160223/ddl/k26/040/456000c>

◆雨水トンネル 掘削機の試運転（2/22 NHK）

<http://www3.nhk.or.jp/kansai-news/20160222/3032341.html>

=====

◆下水道普及へ合意書 全国初、桑名市と東京の事業団〈2/24 中日新聞〉

<http://www.chunichi.co.jp/article/mie/20160224/CK2016022402000009.html>

◆大規模災害想定 宮崎で防災訓練〈2/22 読売新聞〉

<http://www.yomiuri.co.jp/local/miyazaki/news/20160221-0YTNT50056.html>

◆豪雪地で挑む エコな融雪 十日町 温泉熱と下水熱、それぞれ利用〈2/18 新潟日報〉

<http://www.niigata-nippo.co.jp/news/local/20160218235819.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○ニューズレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.or.jp/newsletter/20151030/>
